

機械器具(26) 医療用遠心ちんでん器
一般医療機器 一般的名称：汎用検査室用遠心機 (JMDN コード 36465000)

メディスピン

【警告】

1. ローターに腐食や亀裂が認められた場合は使用しないでください
2. ローターおよびバケットは推奨される使用サイクル数に到達した場合は使用しないでください
3. 爆発性、引火性、可燃性、混合時に反応するような物質は遠心しないでください。
4. ローターの回転が完全に止まるまで、ドアを開けないでください
5. ローターはドライブシャフトにセットされたことを確認し、ノブをしっかりと締め込みガタつかないことを確認してください。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観



2. 寸法および重量

幅	325 mm
奥行	450 mm
高さ (閉蓋時)	240 mm
高さ (開蓋時)	510 mm
重量	15.5kg

3. 電氣的定格

電圧 100 VAC、 周波数 50/60 Hz、
消費電力 100 W

4. 原理等

本品は遠心力の発生により試料（血液、尿、その他の体液など）

中の成分を分離する装置である。

電磁誘導により電力から動力を得るインダクションモーターを採用し、モーターからの動力をドライブシャフトを介してローターに伝えて回転させることで遠心力を得る。

【使用目的又は効果】

本装置は体液等の試料を単独か、又は分析物の測定前に試薬や他の添加物を添加した後に遠心分離をすることを目的とする。

【使用方法等】

詳細は取扱説明書を参照してください。

1. 設置

- 1) 本装置は、水平で頑丈な安定した作業台に設置します。本品の周囲 30 cm の空間を確保し、周囲に熱源がなく直射日光の当たらない場所に設置してください。
- 2) 開梱の前に梱包の状態を確認し、損傷が認められた場合は装置や付属品の状態をチェックしてください。破損している場合はただちに輸入元または代理店にご連絡ください。
- 3) 遠心機を作業台に置き、電源コードを適正に接地された主電源に接続します。
- 4) 本装置を移動・移設する際はローターおよびバケットを装置から取り外してください。

2. 使用環境条件

室内でのみ使用すること。

温度	運転時	+2℃～+40℃
湿度	温度 31℃未満	最大 80%
	温度 31℃～40℃	最大 50%
(ただし、結露しないこと)		

3. 操作方法

- 1) 本体背面の電源スイッチをオンにします（自己診断機能が作動します）。電源スイッチをオンにしたときに遠心機のドアが閉じている場合は、自動的にドアが開きます。
- 2) 遠心機のドアが閉じている場合は、「OPEN」キーを押してドアを開けます。
- 3) ローターがセットされていない場合は、ローターをセットします。ローター本体をドライブシャフトに差し込みます。付属のローター固定ナット(めねじ)をドライブシャフトに取り付けローター本体がしっかりと固定するように締め込みます。
- 4) ローター本体に固定角バケットまたはスイングバケットを取り付けます。ローター本体の印とバケットの印が合うようにセットします。この時対角のバケットは同じ種類のバケットであることを確認します。
- 5) セットする容器のサイズに合わせて、バケット内にスパー

取扱説明書を必ずご参照ください。

- サーをセットします。
- 6) 対角にセットする試料の重量が均等であることを確認し、試料をバケットにセットして遠心機のドアを閉じます。
 - 7) 操作パネルでパラメータ（回転数または遠心力、遠心時間、減速）を設定します（設定済のプログラムを呼び出すこともできます）。
 - 8) 「START」キーを押して遠心を開始します。「STOP」キーを押すことで遠心処理を途中で中断することもできます。
 - 9) 遠心処理が終了し、「End」のメッセージが表示されたら「OPEN」キーを押してドアを開けます。
 - 10) 試料を取り出します。

【使用上の注意】

1. 基本的な注意事項

- 1) 電源コードは必ず接地された主電源に接続してください。
- 2) 本装置の重量は 15.5 kg あります。移動や持ち上げの際には十分注意してください。
- 3) 遠心機の動作中に装置を動かさないでください。
- 4) 試料はバランスを取って配置してください。
- 5) 腐食性の試料を使用したときは十分な清掃をおこなってください。
- 6) 病原性または感染性の危険がある試料を使用した時は装置の汚染に注意を払い、汚染した時は消毒や除染を行ってください。
- 7) ローターチャンバーに結露がある場合は水分を拭き取り、チャンバー内を乾かしてください。
- 8) 試料が入った容器が許容する遠心力以上で遠心しないでください。
- 9) ローターやバケットなどのアクセサリ類はオートクレーブできません。消毒や除染は適切な方法で行ってください。

2. その他

- 1) 安全に操作するため、ローター、バケット、スぺーサーは純正品を使用してください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 設置及び使用環境

温度	2～40℃	
湿度	温度 31℃未満の場合	湿度 80%以下
	温度 最大 40℃の場合	湿度 50%以下
(ただし結露しないこと)		

室内専用
熱や直射日光にさらされないこと
安定で共振しないベンチや架台
装置が水平になるように設置すること
設置場所に少なくとも 30 cm 四方のセーフティーゾーンを設けること
換気の行き届いた場所に設置すること
専用電源に接続すること

- ##### 2. 耐用期間
- 遠心機本体: 10 年間または 140,000 サイクル
(どちらかが先に到達した時点で交換)
ローター: 5 年間または 60,000 サイクル

(どちらかが先に到達した時点で交換)
自己認証(当社データ)による

【保守・点検に係る事項】

詳細は取扱説明書を参照してください。

1. クリーニング(清掃)

1) 頻度

ローターチャンバー	使用後毎回／汚れたとき
ローター	使用後毎回／汚れたとき
アクセサリ	使用後毎回／汚れたとき
外装	使用後毎回
空気流路	半年ごと

2) 手順

- ① 遠心機のドアを開けた後、電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- ② ローター本体からバケットを取り外し、ローター固定ナットを緩めてドライブシャフトからローター本体取りはずします。
- ③ ローターやアクセサリを中性洗剤で清掃し、水で十分すすいでください。
- ④ 布で拭くか、40℃以下の乾燥機で乾燥します。アングルローターを乾燥するときは下向きに置いてください。
- ⑤ 遠心機本体（遠心チャンバー）を清掃します。

2. 汚染除去と消毒

感染性の試料や放射性物質に汚染されたときは速やかに除染や消毒を行ってください。詳細は取扱説明書を参照してください。

ローターとスぺーサーは中性の除染剤を使用してください。ローターおよびアクセサリのオートクレーブによる除染や消毒は出来ません。

業者による保守点検事項

1 年に 1 度業者による保守点検を実施して下さい。

点検事項

1. 電気部品
2. 設置場所の安全性
3. ドアロックと安全機構
4. ローター
5. ローターとローターシャフトの固定状況

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社
神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3 - 9

お問合せ先：

TEL 0120-753-670 または 045-453-9097
ラボプロダクツ事業本部（仕様等）
カスタマーサポート本部（修理・点検等）

製造業者： Thermo Electron LED GmbH

輸入先国： ドイツ

取扱説明書を必ずご参照ください。